

全大教新聞

2018年 9月10日

第351号

【発行所】

全国大学専任教職員組合
(略称・全大教)[PDF版 (全面カラー)]
http://zendaikyo.or.jp/?page_id=107

[電話] 03-3844-1671

[HP] <http://zendaikyo.or.jp/>[所在地] 〒110-0015
東京都台東区東上野
6-1-7 MSKビル7階* 組合員の購読料は
組合費に含まれて
います (一部30円)

今月の紙面

- 3 九州大学大学院言語文化研究教授 鈴木右文
職場のQ&A⑥
「人勧下がれば即減給。人勧上がったら？」
- 2 文科省会見報告 (7月8日)
全大教九州第15回教研集会 (8月25～26日)
論壇「英語教育のさらなる改善にあたって」
- 2 秋冬の労働条件改善の取り組み
愛媛大学「第46回愛媛大学納涼盆踊りを終えて」
わたしもひとこと
- 4 単組からのレポート
舞鶴工業高専「次の世代への引き継ぎ」

お詫言ひと訂正
前号の350号1面にて、ご案内致しました教研集会の分科会の一部に誤植がございました。お詫言ひと訂正いたします。
【正】B5非常勤職員

全大教青年学習交流集会

“親睦深まる”活発な意見交換&議論

全大教青年部は8月18日～19日の2日間、東京都谷中區民館にて全国青年学習交流集会を開催し、17単組のべ29人が参加しました。

18日の交流集会では、最初に本多全大教中央執行委員 (同青年部担当) より、全大教高専協議会の活動を通じた組合の意義やあり方について基調講演をしていただきました。

その後、参加者が五つの班に分かれて、グループ交流を行いました。グループ交流では、上野公園 (国立科学博物館) へ行くグループと谷中の街中散策のグループとに分かれ活動を行いました。

その行動中に、翌日の学習会テーマを話題として、各組合での若手組合員の状況や取り組みなどについて、さまざまな意見交換をし、親睦を深めました。

19日の学習会では、若手組合員をとりまく諸問題の提示から提言へ」をテーマとして、グループ

ワークを行いました。この中では、マインドマップ、ブレインストーミングを用いてアイデアを出し、ペイオフマトリクス分析、PMI分析と呼ばれる分析手法を駆使してアイデアの絞り込みから改善へのプロセスも実施してもらい、短時間での各グループでの提言をまとめました。

最後に、各グループの提言を発表し、質疑応答も行なって参加者全員で共有しました。

グループ交流での親睦が功を奏し、活発なグループワークとなりました。短時間ではありましたが、いろいろな面白い提言が出され、若手組合員の活発な意見交換や議論の場を作ることができました。

(青年部長 高木夏樹)

グループA “休み”の可視化

多忙で休暇が取得・消化できないことなどが問題として挙げられ、「休み」の状況把握・共有が必要との意見にまとまりました。そこで、休暇の積立制度や状況の「可視化・オープンデータ化」を提言しました。プライバシーなどへの配慮の問題もありますが、仕事の管理、組織の経営改善に組合が積極的に関わるしくみが期待できます。



全大教青年部学習交流集会
2018年8月18日 (土)～19日 (日)
東京・谷中區民館

学習会のテーマ
「若手組合員をとりまく諸問題の提示から提言へ」
グループごとに
アイデアをまとめました

グループB 組合を超えた出会いを

若手組合員の減少から組合への理解不足を問題として取り上げ、学習会やレクリエーションが必要と考えましたが、これまでの実情より参加者は少ないことから、組合での合コン主催を提言しました。これによって、若手職員への出会いの場を提供でき、人脈拡大につながり、組合への理解や加入のきっかけになると考えました。



全大教青年部学習交流集会
2018年8月18日 (土)～19日 (日)
東京・谷中區民館

グループC ドライな若手も組合に

若手が組合を敬遠する理由の1つに世代間の意識のずれがあり、一概には言えないものの、ベテランの「高温多湿」な組合への思い入れに対し、若手が「ドライ」な気持ちを持つことが挙げられ、「執行部は、若年の意識を理解しつつ、適度な『湿度』を保てる組合の雰囲気づくり」に努めるべきである」と提言しました。



全大教青年部学習交流集会
2018年8月18日 (土)～19日 (日)
東京・谷中區民館

グループD 職種横断的な交流促進

大学の管理職は、労働法を遵守する必要があります。そこで、労働に関するルールについての研修を行ってはどうかと考えました。また、若手教職員を対象とした働きかけとして、職種間の交流や勉強会などを通して、それぞれの職場の事情について情報交換したり、組合が管理職と団体交渉などを行っていることをアピールしてはどうかと提言しました。



全大教青年部学習交流集会
2018年8月18日 (土)～19日 (日)
東京・谷中區民館

グループE 組合のメリット明確化

他機関との情報共有や評価・待遇改善等の諸問題が多くありました。問題解決として、若手も利用し易いSNS (LINE等) で各単組の取り組み事例の投稿での情報共有化や資格・検定費等の自己研鑽費用を組合費から補填等を行うことを提言し、既組合員へのメリットの明確化と、非組合員への組合活動認知が可能となると考えました。



全大教青年部学習交流集会
2018年8月18日 (土)～19日 (日)
東京・谷中區民館